

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成17年度～			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	04 安全で安心して暮らせるまちづくり
	小項目	施策	02 消防・防災
事務事業名			11 合併調整事業
根拠法令・規程等			消防組織法
問担当課(室)			総務課
職・氏名			消防防災係長 大西武志
電 話			64-1809

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	消防団
目 的 (何のために)	合併による新消防団の整備を図る。
行政活動 (どのような方法で)	活動服や旧日生町及び旧吉永町の消防器庫及び消防車両の名称を統一する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	消防団の統一に必要な事業の進捗率

事業の実績						
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	分団旗の作成		本			
	活動服		着	1,154		
	消防車両等名称統一		千円	1,170		
	消防用乙種衣(法被)		着		470	
実績	防災行政無線施設実施設計業務		千円		5,145	
	直接事業費		千円	14,100	9,266	
	必要人員人件費		千円	0.22人 1,410	0.06人 500	0.02人 169
	事業費		千円	15,510	9,766	169
	国 県 支 出 金		千円	14,098		
財源	受 益 者 負 担 金		千円			
	繰 入 金		千円			
	市 債		千円			
	そ の 他 ()		千円			
	一 般 財 源		千円	1,412	9,766	169
受 益 者 負 担 比 率		%				

結果指標名					
結果指標①	結果指標量	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	活動服	着	1,154		
	対前年対比	%		0.0%	
	活動コスト	円	14,223,000		
結果指標②	単位当たりコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	消防用乙種衣(法被)	着		470	
	対前年対比	%		0.0%	
	活動コスト	円		4,343,000	
単位当たりコスト	円		#DIV/0!	9,240	#DIV/0!

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
		目標値(A)	4/5	5/5	
	実績値(B)	4/5	5/5		到達目標年度
	達成率(B/A)	100.0%	100.0%	#DIV/0!	平成19年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
消防団の統一を図るための5項目の事業(分団旗の作成、活動服の統一、消防車両等名称統一、消防用乙種衣(法被)の名称統一、防災行政無線の連携)の実施状況					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> B 判定理由・課題認識
		市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明
	効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> C 判定理由・課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量	
		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
状況						休止
説明	平成19年度までの事業。平成20年度人件費は残務整理					

総合評価	
新消防団としての整備が、19年度で完了	評価区分<A~E>

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	平成19年度で完了					
改善がある場合	評価の視点	改善内容		改善時期	改善により期待される効果	